

かほだより

R7-8号
R7. 10. 1

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL: 0265-72-2782
Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
所在地: 伊那市西町 5764
伊那諏訪家畜畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

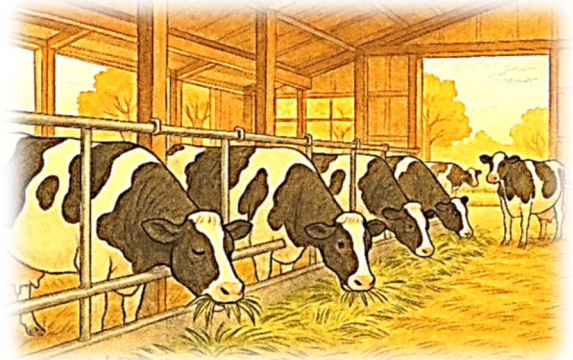
秋口の飼養管理のポイント

～暑熱期後の回復と今後の対応に向けた管理～

暑い夏を乗り切った牛たちにとって、秋は体調を立て直す大事なタイミングです。

代謝を整え、栄養状態をしっかり回復させることで、乳量や繁殖にも良い影響が出てきます。

牛の状態を見極め、飼養管理の土台をしっかり整え牛群の安定を図りましょう。



体調のチェックと繁殖管理の再構築

・ボディーコンディション(BCS)、喰い込み(左けん部の張り)、肢蹄の状態などを確認！

泌乳中後期に適正な体型に整え、必要に応じて削蹄に努めましょう。

・不受胎牛をリストアップし繁殖計画を立て直しましょう。

まずは発情発見！必要に応じてホルモン剤によるプログラムを獣医師に相談しましょう。

牛の発情出現率は夕方(18 時頃)から朝(6 時頃)が約 70%と高い！

中でも夜中から未明の出現率が約 40%といわれています。

注意牛について、朝一番の牛舎作業前、朝の搾乳後、夜の就寝前に注意深く観察しましょう。

暑熱期の振り返り、栄養バランスの見直し 🔍

・夏場の乳脂率の低下、乳量の低下、乳房炎や蹄病の発生はどうでしたか？

バルク乳成分、乳量、繁殖、疾病などの記録を分析し、暑熱対策の改善点を検証しましょう。

・飼料の摂取量と乳量とのバランスを再確認！

栄養管理の改善に向けてエネルギー、タンパク質、ミネラル、ビタミンなどの補給を検討しましょう。

・牛群のカルシウムは足りていますか？

夏バテの正体はカルシウム(Ca)不足とも言われています。

秋になって乳量の増加に伴い Ca も不足します。Ca は一度に多く与えても吸収されません。

少しずつ回数を増やして吸収量を増やします。

暑熱ストレスの“あと”にこそ必要な健康チェック！

秋の牛群管理に、家保の“牛群ドック”(代謝プロファイル検査)を活用してみませんか？



サシバエなど害虫防除 🦟

・秋は特にサシバエの発生がピークを迎えます。牛は忌避行動などストレスで乳量が低下することもあります。また、サシバエは伝染病を媒介することもあります。

・牛体へ使用可能な殺虫剤の噴霧や煙霧など定期的に実施し、必要に応じて防虫ネットを設置しましょう。

サシバエ対策について、家保では農場と一緒に考えて進めていくスタンスです。

牛が快適に過ごせる環境づくりを、現場の皆さんと協力して取り組んでいきます。

牛群ドック等の問合せは 伊那家畜保健衛生所 保健衛生課 (☎ 0265-72-2782) まで